



500年前の山科・蓮如上人ゆかりの地をめぐる

室町から戦国時代にかけて活躍した蓮如上人が山科の地に建設したのは、堀や土塁で囲まれた、他に類を見ない広大な寺と町—山科本願寺・寺内町でした。国の史跡に指定された遺跡もある、500年前の旧跡をたどります。

[交通案内]

地下鉄東西線東野駅下車・出口②

[順路]

距離 約4km
 東野駅 ⇒ 光照寺 ⇒ 蓮如上人御指図の井戸 ⇒ 東本願寺山科別院 ⇒
 13分 4分 8分 4分
 西本願寺山科別院 ⇒ 蓮如上人御廟所 ⇒ 山科中央公園 ⇒ 西宗寺 ⇒ 東野駅
 2分 5分 6分 13分



E
コース



1 「蓮如(れんによ)と山科本願寺」
 蓮如(1415~1499)は、1478年に山科本願寺(現在の東西本願寺の前身)の建設をはじめ、寺院を中心に周囲を堀や土塁で囲う城郭都市「寺内町(じないまち)」が計画的に形成されました。その広さは現在の京都御所に匹敵する大規模なものでした。

2 「山科本願寺南殿跡」
 蓮如の隠居所として建てられました。堀や土塁で囲われていましたが、山科本願寺と同時に焼失し、後に光照寺として再興されました。当時の庭園・土塁がよく残されており、国の史跡に指定されています。

3 「蓮如上人御指図の井戸」
 音羽の里では、「水を乞われた行基菩薩に里の者が水を差し上げなかったため井戸水が出なくなった」という伝説がありました。それを聞いた蓮如が、指図(さしず)した場所を掘らせたところ、こんこんと水が湧き出たと伝わります。

4 「西宗(さいしゅう)寺」
 蓮如に山科本願寺の土地を寄進した、海老名五郎左衛門が創建したと伝えられるお寺です。木造の蓮如像が安置されています。「鶯(うぐいす)でさえ、法をさげ(ホーホケキョ)と喚く」という蓮如の言葉はここが発祥の地。

6 「山科本願寺土塁(どるい)跡」
 繁栄した山科本願寺も、蓮如の没後、1532(天文1)年に武士などによって攻められ焼失します。現在、土塁跡がところどころに残っており、中でも山科中央公園にある土塁跡は国の史跡に指定されています。一番高いところで約9mもあります。

5 「蓮如上人御廟所」
 蓮如は山科で85歳の生涯を閉じました。御廟所は「大手先町」という場所にありますが一説ではこのあたりに山科本願寺の正面の門があったとされています。波瀾万丈な一生を送った人物も、今はここで安らかな眠りにについています。

凡例
 山科本願寺跡(推定)
 現存する土塁跡

